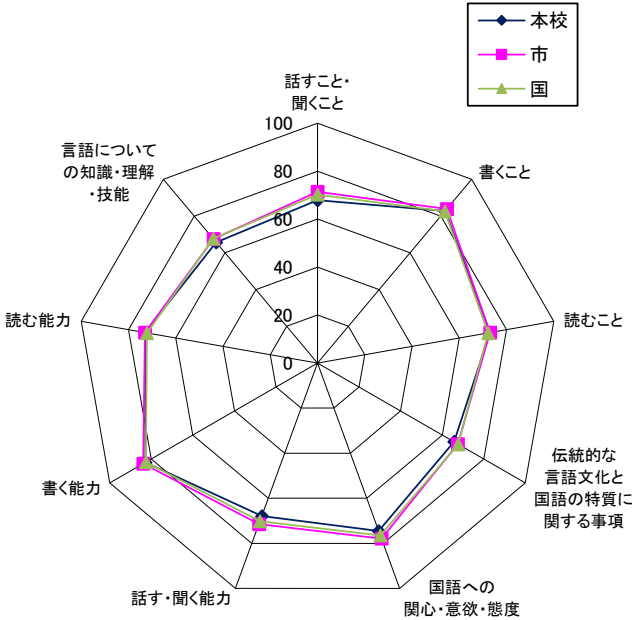


宇都宮市立陽南中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	67.9	71.4	70.2
	書くこと	82.8	83.9	82.6
	読むこと	73.0	73.0	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.7	67.5	67.7
観点	国語への関心・意欲・態度	74.5	77.9	76.5
	話す・聞く能力	67.9	71.4	70.2
	書く能力	82.8	83.9	82.6
	読む能力	73.0	73.0	72.2
	言語についての知識・理解・技能	65.7	67.5	67.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	● 平均正答率が、全国平均を2.3ポイント下回っている。 ● 2年次の「とちぎっ子学習状況調査」の話すこと・聞くことについての正答率より県との差を縮めることができたが、県平均を2.6ポイント下回っている。	・普段の授業の中で自分の意見を整理して発言することや、相手が伝えたいことをきちんと理解できるようにしていく必要がある。また、グループでの話し合い活動を通して、話し合いでの役割についても考える時間を設ける。
書くこと	平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。 ○ 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討するという問題では、全国平均を1.3ポイント上回っている。 ● 根拠を明確にして書くという問題では、全国平均を0.8ポイント下回っている。	・書いた文章を推敲することで、最適な文章表現を精査し、書くことの基礎となる表現技法や文章表現を身に付けさせる。 ・授業の中で、自分の考えをまとめる時間を設け、書いたものをお互い読み合い、伝えたい内容が書き表されているか検討する中で、書く力を身に付けさせる。
読むこと	● 平均正答率が、全国平均を0.8ポイント下回っている。 ○ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつという問題では、全国平均を4.4ポイント上回っている。	・文学的文章の内容理解については、登場人物の心情を的確に読み取りながら、その作品が伝えたいことを把握できるよう継続的に教えていきたい。また、説明的文章の内容理解にあたっては、主題と要点を理解し、接続詞にも着目しながら筆者の考えを読み取ることができるよう指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	● 平均正答率が、全国平均を2.0ポイント下回っている。 ○ 語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用を理解するという問題では、全国平均を0.5ポイント上回っている。 ● 封書の書き方を理解して書く問題では、全国平均を4.7ポイント下回っている。	・封書の書き方に関しては、感謝の手紙等で書き方の知識についても適宜指導する。 ・漢字の読み書きに関しては、定期的に漢字テストを行い、基礎的な力を養うことが不可欠である。また、普段の生活においても、漢字を意識的に使うよう指導し、読みと書きのバランスの取れた力を育てる。